

人間社会学部

試験問題冊子

(A日程 2月2日)

国語

注 意

- ① 試験監督者の指示があるまで、問題冊子を開かないこと。
- ② 問題冊子に落丁、乱丁があった場合は、試験監督者に申し出ること。
- ③ 試験監督者が試験開始の指示をしたら、ただちに解答用紙の所定欄に、受験番号を記入し、マークすること。
- ④ 解答は全て解答用紙に記入すること。
- ⑤ マーク式解答欄および裏面の記述式解答欄の指定された箇所以外は使用しないこと。
- ⑥ 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

注意 解答はすべて各問の下端の□内に指示された解答欄にマークまたは記入すること。なお、解答欄のうち、この試験で使うのは、マーク式解答欄の1～14、記述式解答欄のA～Jのみである。

問題一 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

「センスがよい／悪い」と、僕たちは何気なく口にします。

「センスを生かす」というと、分野はタキにわたります。

美的センスという言葉はさまざまなシーンで使われ、身近なところではファッションのセンスがあります。「バッティングセンス」など、スポーツにもセンスが必要とされ、仕事にもセンスは必要です。

経営を左右するのも、売り上げを左右するのもセンスです。

では、「センスのよさ」とは何でしょう？

「服のセンスがいい」というのは、カッコいい／悪いとほぼ同じ、そう言っても差し支えないでしょう。

「経営のセンスがいい」というのは、売り上げがいい／悪い、あるいは業績がいい／悪いということでしょうか？ たしかに経営センスのある社長がいる会社は、たくさん利益を出しているように思えますし、数字はとても大切です。

a、業績がよくても「センス？ うーん、どうだろう？」という会社もあるでしょう。たとえば、従業員や取引先を悲しい目にアわせて利益だけ出していたら、センスがいい会社とは言えません。

逆に業績はいまひとつでも、よい人材を育成し、力の強い企業をつくろうとしている社長なら、経営センスがいいかもしれません。

新商品を開発するために利益を新しい投資に回し、一時的に利益率が落ちているという会社の社長も、よき経営センスの持ち主かもしれません。

業績や売り上げは数値化できますが、「センスのいい会社」というのは、単純に数字では測れないものです。

トップレベルの野球の打者一〇人を打率がいい順に並べたとして、「打率が一番の人が、バッティングセンスも一番です」と言い切ったら、おそらく異論が出るでしょう。少なくとも僕は、それほど単純なものではないと思います。

このように考えると、センスというのは数字で測ることができないものである、となります。

「センスのよさ」とは、数値化できない事象のよし悪しを判断し、最適化する能力である。これが僕のセンスについての定義です。

おしゃれもかっこよさもかわいらしさも、数値化できません。しかしそのシーン、そのとき一緒にいる人、自分の個性に合わせて服装のよし悪しを判断し、最適化することはできます。それを「かっこいい、センスがいい」と言うのです。

「日本で一番売れている服」はデータを取ればある程度数値化できますが、それを着ればセンスがよくなるわけではありません。ハイエンドのブランド品を着ればセンスが

よくなれるかといえば、明らかに違うことはわかりでしょう。

数字で測れないために、センスというのは非常にわかりにくいものだと思われると思います。それでも確実にセンスのよい／悪いは存在し、それはどのような環境のもとにあるかにも左右されます。

センスとはわかりにくいもの。

特別な人にだけ生まれつき備わっているもの。

天から降ってくるひらめきのようなもの。

このような誤解を招く理由の一つは、センスが数字で測れないものだからでしょう。それゆえに「斬新なアウトプットをするには、いまだかつて誰も考えなかったとんでもないことを、センスをもつてひらめかなければいけない」と思い詰めてしまう人もいます。いざ商品開発となると、「普通じゃないアイデア」を追い求めてしまうこともあります。

しかし、センスがよい商品をつくるには、「普通」という感覚がことのほか大切です。それどころか、普通こそ、「センスのいい／悪い」を測ることができる唯一の道具なのです。では、普通とは何でしょう？

大多数の意見を知っていることでも、常識的であることとも違います。

普通とは、「いいもの」がわかるということ。

普通とは、「悪いもの」もわかるということ。

その両方を知った上で、「一番 **b**」がわかるということ。

「センスがよくになりたいのなら、まず普通を知るほうがいい」と僕は思います。

これは「普通のものをつくる」ということではありません。「普通」を知っていれば、ありとあらゆるものがつくれるということです。

普通よりちょっといいもの、普通よりすごくいいもの、普通よりとんでもなくいいものというように、普通という「定規」であらゆる事象を測っていくことによって、さまざまなものをつくり出すことができます。

たとえばとして「定規」という言葉を使いましたが、数字であらわせない抽象的なものを測るので、「スイスアーミーナイフのような多機能ナイフを持つ」とイメージしてもいいでしょう。小さなナイフ、ワインのコルク抜き、はさみも爪切りも、すべてがコンパクトにまとまっている道具です。

スイスアーミーナイフのナイフと庖丁を比べたら、庖丁のほうがよく切れるに決まっているし、爪切りも単体の爪切りのほうが使いやすいのです。しかしスイスアーミーナイフを一つ持っていることで、「いざとなれば何かはできる」という安心感が芽生えます。普通を知るとは、これに似ています。

「ありとあらゆる資格を持つていればいいという、資格マニアのようなものなのか？」と思うかもしれませんが、僕の意味することは、ちよつと違います。

「たくさんの道具を持っているから何でもできる」のではなく、「あれもできて、これでもできるから、その真ん中がわかる」という状態になるのではないかと考えているのです。

たとえばビートルズについて聞かれた時に、僕が「すごいんだよ」と言うのと、坂本龍一さんが「すごいんだよ」と言うのとでは、説得力が違います。音楽のプロである彼は音楽についての豊富な知識をもっていて、ありとあらゆる角度でビートルズを測るこ

とができます。その結果の「すごいんだよ」だからこそ、説得力があります。人はそれをサッチして、「坂本さんが言うことの精度は高いだろう」と感じると思うのです。

坂本さんはおそらく、古今東西のあらゆるミュージシャンを知悉した上で、「ビートルズはすごい」と定義するでしょう。しかし、ビートルズだけが熱狂的に好きな人にとつては、ビートルズがすべてです。ローリングストーンズと比べることも、Bzと比べることもできません。「ビートルズ以外は、関係ない」と凝り固まってしまいます。

これは別に悪いことではありませんし、「ものごとを深く見ている」とも言えます。しかし、とても狭く偏ったものの見方であることは間違いなく、その人が言う「すごいんだよ」には、説得力がありません。

数値化できない事象には、ありとあらゆるものがあります。ましてそれを最適化するとなれば、多角的・多面的なものごとを測った上で「普通」を見つけ出し、設定する能力が必要です。

数値化できない事象を測る方法をたくさん知っていればいるほど、センスがよくありません。自分が認識している「普通」の基準と、あらゆる人にとっての「普通」を、イコールに近づけられるようになればなるほど、最適化しやすくなるのではないのでしょうか。

普通という定規でいろいろな年齢を測れば、いろいろな年齢の消費者の欲しいものがつくれます。つくり手が男性だろうと女性だろうと、異性が好きなものもつくれることができるのです。

普通を知るということは、ありとあらゆるものをつくり出せる可能性がたくさんあるということです。

(水野学 『センスは知識からはじまる』)

問1 傍線部1、2、3のカタカナを漢字に直して、傍線部4、5の漢字のよみをひらがなで、それぞれ記述式解答欄に記入しなさい。

1 2 3 4 5

問2 傍線部ア「センスのよさ」の本文における具体例として最も適当なものを、次の

①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 厳しい社会情勢においても業績を伸ばしている企業
- ② 従業員や取引先の努力なしに利益を出す経営者
- ③ ハイエンドのブランド品を着こなすことができる人
- ④ 環境や自分の個性に合わせて適切な服装を決められる人

問3 空欄 に当てはまる接続詞として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① そして
- ② しかし
- ③ また
- ④ さらに

問4 傍線部イ「普通」という感覚がことのほか大切」な理由として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① センスが必要とされる分野は広いから。
- ② センスは数値化できないのでわかりにくいものであるから。
- ③ 事象のよし悪しを測る上で基準にすることができるから。
- ④ 数値化できない事象を多角的・多面的に測れるようになるから。

問5 空欄 に当てはまる語として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① いいもの
- ② 極端
- ③ 悪いもの
- ④ 真ん中

問6 傍線部ウ「説得力が違います」と筆者が言う理由として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 坂本龍一さんは筆者と違ってプロフェッショナルであるから。
- ② 坂本龍一さんは作曲するために必要な知識を豊富に持っているから。
- ③ 坂本龍一さんはビートルズが作った曲について深く理解しているから。
- ④ 坂本龍一さんがもつ音楽についての豊富な知識から判断しているから。

問7 傍線部エ「設定する能力」と筆者が述べる例として最も適当なものを、次の①～

④の中から一つ選びなさい。

6

① たくさんの道具を使いこなせる力

② 豊富な知識を持ち、物事を深く考えることができる力

③ 自分が考える「普通」と多くの人が考える「普通」を近づけられる力

④ 幅広い年齢層の消費者や異性が欲しがらるものをつくれるようになる力

問8 本文の内容に最も合致するものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

7

① よいセンスは様々なシーンで必要とされており、よいセンスを身につけるためには事象のよし悪しを数値化することができる能力が必要である。

② 数字で測れない事象は数多く存在するので、ものごとを多角的・多面的に測った上で「普通」を見出すことが必要である。

③ センスは数字を用いて測ることは困難であることから、シーンによっては必ずしもセンスのよし悪しがあるとは限らない。

④ よいセンスを身につけるためには、多くの知識や世の中の常識を理解した上で、ものごとを多角的・多面的に測れる力が必要である。

問題二 次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

大きな博物館へ行くと、いくつもの展示室が目にはいる。メソポタミア。古代エジプト。古代ギリシア。ローマ帝国。中世ヨーロッパ。近代ヨーロッパ。どの展示室にも美しい人工遺物がぎっしり並び、展示室をつぎつぎ見ていくと、文明のリユウセイをたどることができる。気が向けば別の翼棟へ足を延ばし、インドや中国や日本などの国々に主眼を置いた部屋をのぞいてみてもいい。

わたしたちはたいいていこのように、長い時間の流れのなかで独自に発展したばらばらの文明として世界史を学ぶ。

一方、別のタイプの博物館はどうだろう。時代だけで整理、分類した博物館を思い浮かべてみよう。たとえば、展示室の一つを見てまわると、古代ローマのデナリウス銀貨、古代中国の漢王朝の青銅貨、古代インドのマウリヤ朝の打刻印銀貨が展示されている。地理的に大きく隔たっているにもかかわらず、三つの大文明がほぼ同時期に驚くほど似かよった変化を経験していることにたちまち気づくだろう。 a。

また、数世紀のちの中世初期に関する展示室へ行けば、キリスト教、イスラム教、仏教の聖なる遺物や建造物を目にするだろう。歴史の同時期に世界の三大宗教が中国とインドと地中海地域を結ぶ交易路に沿って広がり、浸透していったことがありありと感じとれるはずだ。このほうが歴史の展開をもっと正確に描き出すことになる。ヨーロッパとアジアは昔からいつも相互に結びついていたからだ。

多くの人は、グローバル化がもたら近代の現象だと考えている。科学技術と空の旅が新時代の到来を告げ、互いに閉ざされていた社会がようやくつながるようになったと思っ**b**ている。もしそうであれば、孔子とソクラテスとブツダがほぼ同じ二五〇〇年ほど前に似かよった哲学的な問題に取り組んだのはなぜだろう。 c、三人はまったく異なる土地で生き、互いに遠く隔てられ、話すことばもまるで違っていた。

じつをいうと、技術革新や科学技術や思想は、ずっと昔から地球上を移動していた。ユーラシア大陸内のダイナミックな緊張関係と人口移動は、ユーラシア史のかなりの部分を特徴づけてきた。孔子もソクラテスもブツダも、よく似た社会的な要因に触発されていた。

dなぜ哲学的な論争が生まれたのか、なぜ思想家たちが似かよった問題に注目したのかを理解するには、彼らが生き、思想を發展させた豊かで活気あふれる文化を理解する必要がある。

自分たちは過去と決別し、真つさらな時代をキズ²いているのだと考えたのは、一九世紀のヨーロッパ人がはじめてではない。新時代の到来は、人類の歴史を通じて繰り返してきている。とくに影響の大きい事変が紀元前一千年紀の中盤にユーラシア各地で起きた。

青銅器時代の貴族社会は二〇〇〇年にわたってユーラシアを支配し、代々の血のつながりだけで権力と富をセシユウ³してきたが、歴史の大変革のなかで崩壊をはじめた。そうした国が衰亡するにつれ、新たな政治体制——ギリシアの徹底した民主制や、中国の中央集権的な官僚制と法律制度——が試み⁴られるようになった。新しい形態の国政運営術は、社会的流動性のはじまりをうながした。この国々がはじめた大きな社会変革のた

だなかで、それまでの貴族文化に組み込まれていた宗教組織も同じく崩壊の道をたどった。

その結果、ユーラシア各地で宗教運動や哲学運動が盛んになった。古代ギリシアにおいては、ソクラテス、プラトン、アリストテレスの時代であり、ピタゴラス教団やオルフェウス教も生まれた。インドでは、ジャイナ教が台頭し、もっとも重要なことに、ブッダが登場した。中国においては、本書のテーマである孔子、孟子をはじめとする諸子百家と、宗教運動の時代だった。すべて、おおむね同時代のことだ。みな一様に、社会秩序が衰退するとき浮上する問いに取り組んでいた。国を治める最良の方法とは？ だれにでも大成するチャンスがあるすばらしい世界をキズくには？ どのように人生を送るべきか？ みな一様に、わたしたちとよく似た問題と格闘していた。

この枢軸時代は、紀元前一世紀にユーラシア大陸を横断する広大な帝国が成立するまでつづいた。こうした帝国に適合するように、紀元後の数世紀のあいだに一連の救済の宗教がユーラシアじゅうに広がった。キリスト教、マニ教、大乘仏教、道教、少しおくられてイスラム教だ。そして数世紀のうちに、ユーラシアの多くの地域、とくにヨーロッパでは、帝国の崩壊と貴族支配への復帰を経て、哲学と宗教の試みの期間が終わりを迎えた。

枢軸時代の社会の変化は、地理的に広い領域に驚くほど似かよった発展をもたらした。孔子やブッダやギリシアの哲学者が互いの存在に気づいていたという証拠はないし、e 互いの思想を知っていたという記録などない。ところが、紀元前五〇〇年ごろにまるで類似点のないユーラシアの各地で起こった主要な哲学運動は、f というまったく同じ信念をもっていた。

青銅器時代の大半を通じて、ほとんどの人は自分で人生の道筋を変えられるなどとは夢にも思っていなかったが、その時代が終わり、社会的流動性が増したことで、一部の人が手にできるものはすべての人が手にできるはずだし、そうあるべきだという観念の種がまかれた。

同時に、人々は重大な文化的危機クラシスの時代に生きてると自覚していた。この時代はたえまない戦争の時代であり、とくにギリシア、北インド、中原（黄河の中下流域）では争いがつづいた。のちに大規模な哲学運動や宗教運動の多くが出現するまさにその地域だ。そこでは、人々が道を踏みはずし、素朴な礼儀に沿って生きるための行動規範を捨ててしまったという意識が蔓延マンしていた。古代ギリシアの詩人ヘシオドスは、この時代の風潮キトスをとらえ、人間関係がもろくも崩れてしまった時代に生きていることを嘆いた。ヘシオドスによると、父と子は反目し合い、子どもは年老いた親の世話をせず、兄弟姉妹は互いに争い、人々は「暴力への賛辞」を惜しまなかった。

宗教運動や哲学運動が勃興しはじめたのは、この文化的な危機のただなかだった。多くの運動が、社会から離脱し、暴力の完全な排除を基盤にしたそれにかわるコミュニケーションをつくることを目指した。現世の先にある高次の世界を想像することで、崩壊した地上の世界を完全に超越すると強調する運動もあった。

（マイケル・ピュエット&クリスティーン・グロスロー著 熊谷淳子訳

『ハーバードの人生が変わる東洋哲学―悩めるエリートが熱狂させた超人気講義』

問1 傍線部1、2、3のカタカナを漢字に直して、傍線部4、5の漢字のよみをひらがなで、それぞれ記述式解答欄に記入しなさい。

1 [F] 2 [G] 3 [H] 4 [I] 5 [J]

問2 空欄 [a] に当てはまる文として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 8

- ① その理由はいつたどこにあるのだろう
- ② いずれも帝国をつくりあげ、硬貨を基盤とする経済を発展させた
- ③ いずれも文明の変化と経済発展の産物である
- ④ その理由は、三大文明がもたらされた時代的な背景にあるだろう

問3 傍線部ア「この」が具体的に指すものとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 9

- ① いくつもの展示室がある大きな博物館
- ② 中世初期に関する展示室
- ③ 同じ時代で整理、分類した博物館
- ④ 交易路など地理的な展示室

問4 空欄 [b]、[c]、[d]、[e] に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 10

- ① b ところで c しかも d そうであるならば e それに
- ② b しかし c しかも d そもそも e まして
- ③ b ところで c だが d そもそも e それに
- ④ b しかし c それに d そうであるならば e まして

問5 傍線部イ「社会的な要因」として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 11

- ① 青銅器時代の貴族社会が二〇〇〇年にわたってユーラシアを支配したこと
- ② 貴族文化に組み込まれた宗教組織が崩壊した問題
- ③ 思想が発展して豊かで活気のある文化ができたこと
- ④ 社会秩序が衰退するときに浮上したさまざまな問題

問6 空欄 [f] に当てはまる文として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。 12

- ① 世界を変えなければならない
- ② 哲学と宗教の試み
- ③ 貴族支配を復活させなければならない
- ④ 救済の宗教を広めたい

問7 傍線部ウ「文化的危機の時代」の内容として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

13

- ① たえまない戦争の時代
- ② 大規模な哲学運動や宗教運動の多くが出現する時代
- ③ 素朴な礼儀に沿って生きるための行動規範を捨てた時代
- ④ 人間関係がもろく崩れてしまった時代

問8 本文の内容に最も合致しないものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

14

- ① さまざまなタイプの展示室のある大きな博物館に行けば世界史がよりよく学べる。
- ② グローバル化は近代以前にも存在した。
- ③ 孔子とソクラテスとブッダは同じような思想的問題と格闘した。
- ④ 枢軸時代の社会の変化は、地理的に広い領域に驚くほど似かよった発展をもたらした。

(以上)

